



藍 建 第 2 4 3 号
平成 1 9 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長
宮 田 年 耕 殿

徳島県板野郡藍住町
藍住町長 石川 智 能



今後の道路政策について（要望）

道路特定財源の見直しに関する具体策として、平成18年12月8日閣議決定されていますが、人口当たりの自動車台数が多く自動車交通の依存度の高い徳島県では、スムーズに走れる道路網の整備が強く望まれています。しかしながら、徳島市周辺における交通渋滞は朝夕の通勤時を中心に依然深刻な状態です。これは、徳島県の幹線道路である一般国道11号線、55号線、192号線が徳島市中心市街地でT字状に交差し、1点集中型の道路網となっており、都市内交通や通過交通などの自動車交通が徳島市中心市街地に集中することが大きな原因となっています。

また徳島県は大きな河川により交通が分断されており、そのため橋梁部に交通が集中し橋梁取合部などにも局所的な渋滞が発生しています。

このため、これらの交通渋滞や沿道環境などの道路交通問題の解消を図り、一般道路相互及び高規格道路との連携を強化して、効率的な市街地形成ならびに都市の健全な発展を図るために放射・環状道路などの整備を早急に進める必要があります。徳島市圏域の交通渋滞の解消に向けて整備されている徳島外環状道路に関しては、本町域では平成12年に徳島北環状線が開通し、現在は徳島東環状道路・徳島南環状道路の建設が進んでいますが、徳島西環状道路の吉野川周辺の区間は工事着工がなされておらず早期着工を望みます。

今後におきましても、道路特定財源により、地域格差への対応や生活者重視の視点を踏まえて、地方の活性化や自立に必要な地域の基幹道路の整備や渋滞解消のための道路整備を行っていくことを強く要望します。